

事業年度 4月1日～翌年3月31日
 期末配当金 3月31日
 受領株主確定日
 中間配当金 9月30日
 受領株主確定日
 定時株主総会 6月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の管理機関
 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 ☎ 0120-232-711 (東京)
 ☎ 0120-094-777 (大阪)

単元株式数 100株
 公告の方法 電子公告により行う
 公告掲載URL
<http://www.xcat.co.jp/ir-info/electronicnotification/index.html>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きに関しましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



IRサイトのご案内

<http://www.xcat.co.jp/ir-info/>

当社IRサイトにおいて、最新のIRニュースから業績・財務情報をはじめ、詳細なIR情報を開示しております。是非ご覧ください。

第42期 株主通信

2014年4月1日～2015年3月31日



USER × MAKER
 SOCIETY × COMPANY
 HARD × SOFT
 HEART × TECHNOLOGY



証券コード: 2307

Contents

ごあいさつ 1
 Q&A 2
 主要経営指標 5
 業種別売上構成 6
 クロスキャット最前線 7
 NEWS 9
 会社概要/株式の状況 10

新たな中期経営計画のもと、事業拡大に向け、邁進してまいります。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

当社では、株主価値の最大化に向けて鋭意努力を続けており、このあと取り組みの詳細について、ご説明させていただきます。

今後一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長

牛島 豊



代表取締役社長

井上 貴功



心技の融和

企業理念

クロスキャットは、知識・技術・創意という知的要素である『技』を高め、お客様には『心』で対応する。

つまり『心技の融和』をモットーとして社会に貢献します。

技術と感性

経営理念

私たちは、企業理念にある『心』の本意は誠意であり、時には意欲・忍耐・信念をも包含すると考えます。従って、どんな困難な局面においても『ハート』を失わないよう努めます。私たちは、先進的なアプリケーション開発技術と、多様な運用のノウハウを駆使し、ユーザーへの総合的かつプロフェッショナルなサービスの提供に努めます。私たちは、常に時代を見る眼と、みずみずしい感性を持ち、世のトレンド、環境にフレキシブルな対応ができるよう努めます。

井上社長に聞く ～今そしてこれからのクロスキャット～

Q 当期の概要、市場動向について教えてください。

A 大型案件の開発ピークが過ぎた影響で減収となったものの、プロジェクト管理強化により増益となりました。様々な新技術を背景に今後もビジネスチャンスの拡大が予想されます。

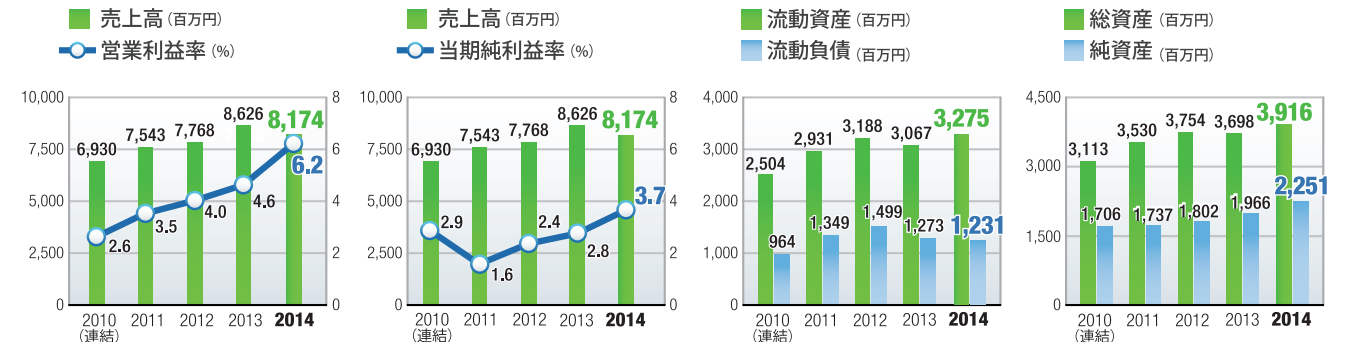
当期の情報サービス業界は、ユーザー企業のIT投資への動きは見られたものの、厳しい競争が続きました。こうしたなか、中期経営計画「Brights 2014 Vision」の最終年度を迎えた当社は、業容拡大と業績確保を目指し、積極的な活動を展開しました。

その結果、主力分野の金融系が増加した一方、クレジット系の大型案件が開発ピークを過ぎたことで、売上高は8,174百万円と減少しましたが、予算の管理強化とPMO推進で不採算案件が縮小し、営業利益507百万

円、経常利益533百万円、当期純利益300百万円と、過去最高益を更新しました。これにより、期末配当金は予定より2円増配し、12円とさせていただきます。

今後も、ビジネスシーンにおけるIT活用が進み、情報化投資の拡大が予想されます。このチャンスを確実なものとするため、独立系Slerとして蓄積したノウハウを強みに、システム開発をベースとしたソリューションサービスの充実と新サービスの展開で事業拡大を目指します。

財務ハイライト



井上社長に聞く ～今そしてこれからのクロスキャスト～

Q 新たな中期経営計画について教えてください。

A 前中期経営計画を継承しつつ、さらに高いレベルを目指していきます。

2015年度からの3カ年で実施する新中期経営計画「Innovation Fast 2017」は、前回の中期経営計画で掲げた「5つの視点を重視したバランス経営」を継承したものです。次の施策により、新たな価値創造を目指します。

①「成長エンジン」として、得意分野の推進とともに積極投資で新サービスを開発します。また、より一層の成長・拡大を目指し、事業提携やM&Aも推進します。

②「営業の変革」では、顧客志向マーケティングによる潜在ニーズの把握と並行し、提案力も強化します。これにより、競争優位性のある最適な提言を行い、お客様との信頼関係強化を進めます。

③「開発プロセスの変革」は、一層の品質向上を目指す取り組みです。ソフトウェアプロセスの成熟度を示すCMMIのレベルを、現在達成しているレベル3からレベル5まで引き上げ、プロセス管理能力をさらに強化します。また、高付加価値サービスの積極展開も図ります。

④「人材育成」では、高付加価値サービスを提供す

るため、高度な専門技術を習得した人材の育成に注力します。また、ダイバーシティを意識し、多様な人材のダイナミックな活用により、お客様の満足度と社員のモチベーションの向上を図ります。

⑤「経営基盤の強化」として、利益の最大化と当社ブランドの価値向上を推進し、経営基盤の強化を目指します。

Innovation Fast 2017	
1	成長エンジン
2	営業の変革
3	開発プロセスの変革
4	人材育成
5	経営基盤の強化

Q 現在の課題、その対策について教えてください。

A 品質のさらなる向上、そして事業力の強化に向けて取り組んでいます。

ビジネスチャンスが拡大する一方で受注競争が激化している中、業容を拡大するためには、他社に勝る競争優位性の確立が重要です。そこで注力しているのが、開発品質のさらなる向上です。運用実績の長いQMSとレベル3を達成したCMMIのノウハウに加え、プロジェクトマネジメントを支援するPMO専任部署による監視強化も行うことで高レベルの管理活動を徹底させ、品質の向上を図っています。また、この管理活動は不採算プロジェクトを未然に防止し、収益力を向上させる一因となっています。

さらに、最も重要な経営資源である技術者の確保とスキルの向上は、恒常的な経営課題です。そこで、新卒採用とキャリア採用の両面で積極的な採用を行うとともに、M&Aも選択肢に含めて優秀な人材の確保に努めています。加えて、採用した人材が活躍できるよう、社内研修による育成にも力を入れています。このほか、協力会社との関係強化による人材確保にも取り組んでいます。

これらの取り組みにより、事業力を強化し、競争力を高めることで業容の拡大を実現します。

Q 来期の見通しについて教えてください。

A 増収を見込むものの、本社移転の影響により減益となる見込みです。

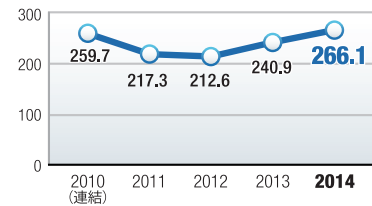
企業の情報化投資への意欲は回復しつつあるものの、優秀な技術者を十分に確保する必要があるため、引き続き厳しい競争が続くことが予想されます。

このような経営環境の下、当社では戦略領域の強化と新規ビジネスの展開を図るとともに、より一層プロジェクト管理の徹底と品質の向上に努め、多様化・高度化するお客様のニーズに応えていきます。さらに、事業規模の拡大を目指して、2015年度からの3年間を見据えて策定した新中期経営計画「Innovation

Fast 2017」の取り組みも進めていくことで、他社との差別化を図り、お客様起点のITサービス企業として、幅広く事業を展開してまいります。

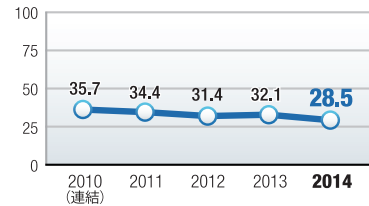
これにより、来期は売上高8,700百万円と増収を見込んでいます。また、来期は事業の拡大に向けて、アクセス利便性の向上と業務の効率化を実現するため、本社の移転を予定しています。その影響で、営業利益360百万円、経常利益360百万円、当期純利益200百万円と、利益は減少する見込みです。

流動比率 (%)



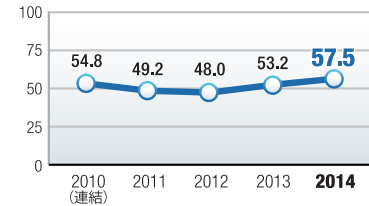
資金の流動性を示す指標。当期は前期比25.2ポイント上昇しました。

固定比率 (%)



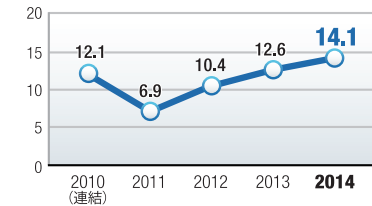
固定資産をどの程度自己資本でまかなっているかを示す指標。当期も高水準を維持しています。

自己資本比率 (%)



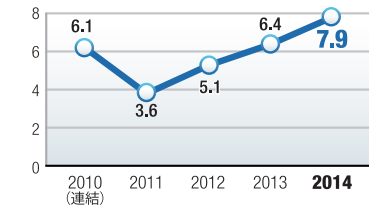
総資産に占める自己資本の割合を示す指標。当期は前期比4.3ポイント上昇しました。

ROE (%)



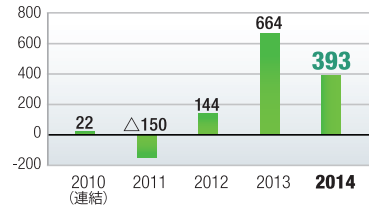
株主資本を使ってあげた利益を示す指標。当期は、前期比1.5ポイント上昇しました。

ROA (%)



総資産に対する利益率を示す指標。当期は前期比1.5ポイント上昇しました。

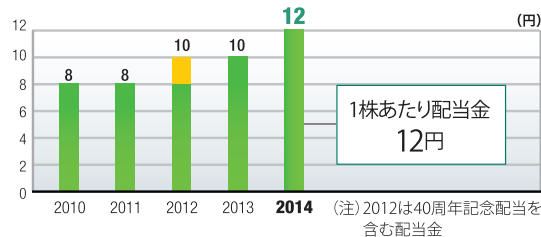
フリー・キャッシュ・フロー (百万円)



企業活動により残ったキャッシュ・フロー。当期はたな卸資産の減少により前期からは減少しましたが、高水準にあります。

配当について

利益配分については、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主様に対する利益還元を継続していくことを基本方針にしています。当期は、10円の予定でしたが過去最高益を達成したことを受け、12円とすることになりました。



2014年度クロスキャストの業種別売上構成



クロスキャストは、クレジット、金融を中心に、さまざまな分野へ事業を展開。“独立系の情報サービス企業”の強みを活かし、幅広い視点と柔軟な発想で、顧客のニーズに応えています。

クレジット 17億85百万円

当社はクレジットの進化とともに、20年以上にわたり数多くのシステム構築(会員の与信や各種提携カード、CD・ATM業務など)を積み重ねてきました。そのなかでもVISAカードやマスターカードなどの“国際ブランドカード”と呼ばれる分野では優位な技術を保有しています。私たちの暮らしに深く浸透しているクレジットカードは、これからも、決済方法の多様化によって成長していくと見込まれています。

金融 23億72百万円

クレジット分野とともに“コア領域”の両軸を担う金融分野では、「銀行」「保険」向けのシステムを構築しています。銀行システムでは、勘定系を中心に業務システムの構築からシステム保守までを手掛け、保険においても大規模インフラ構築を得意分野として、高品質なソリューションを提供しています。

官公庁・自治体・公共事業 12億62百万円

当社は、政府の新IT戦略の柱である“電子政府”の実現の一翼を担い、全国規模のインフラ整備やシステム保守を手掛けてきました。また、ガス会社の営業システムなども高い評価をいただいています。近年では、当社独自で入札・落札した開発案件を高品質で納入し、さらなる実績を積み上げています。

公営競技 5億98百万円

競馬、競輪、競艇、オートレースなどの「公営競技システム」の開発に30年以上携わり、幅広いノウハウを蓄積。投票系から情報系までの公営競技運営システムを提供しています。

通信 3億87百万円

通信会社が提供するネットワークが正常に動作するように24時間・365日の監視をし、故障時の即時対応などで通信会社からの信頼を得ています。また、携帯電話会社の顧客管理システムの開発、携帯電話で使用するネットワークシステムのインフラ構築にも取り組んでいます。

製造 5億56百万円

食品・飲料の販売・マーケティング・経営管理などの“戦略情報”に加え、生産工場における“品質管理情報”を提供し、企業活動を支えるシステムを開発。

流通 1億16百万円

流通業に係る管理システム等を開発しています。

報道出版 3億86百万円

TV対応システムを主とし、さらに営業を支援するシステムを開発しています。

様々なお客様のニーズに応えるために、製品・サービスを拡充しています。

	金融	クレジット	公共	通信	製造・流通他
システムソリューション	システム開発	顧客企業の事業戦略に合致した高水準できめ細やかなシステムサービスを提供。			
	IT基盤構築・運用	先端アーキテクチャをマルチベンダー環境で実装するシステム基盤サービスを提供。			
コンサルティング	BIビジネス	BIツールとBI構築ノウハウを組み合わせ情報活用の効果を最大化			
自社シリーズ製品	パッケージ型	国際ブランドソリューション CC-Quattro シーシークワトロ	法人メーカーの決定版! 共有@メール	AR設備保全ソリューション CC-FactRevo/AR	
	クラウド型	SaaS型勤怠管理システム CC-Biz Mate シーシーbizメイト	予算管理ソリューション CC-BudgetRunner シーシーバジェットランナー		

クロスキャットは、長年にわたって蓄積してきた豊富な実績とノウハウを活かし、様々なお客様のニーズに応えるソリューションとして、金融とクレジット業界向けを主力に公共・通信・製造と幅広い業界の受託開発を手掛けています。その経験を活かし、クラウド製

品をはじめ、数多くのパッケージ製品も積極的に開発しています。クロスキャットのクラウド製品は、低コストで手軽に導入できるクラウドの特長をさらに強化したことで、幅広い層のお客様に導入いただけるようになりました。

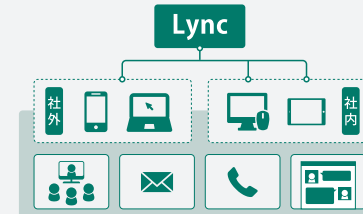
New Line-up

新サービス

Microsoft Lync 導入支援

Lyncとは、プレゼンス(在席情報)、インスタントメッセージ、Web会議、電話などの機能を統合したマイクロソフト社の統合コミュニケーションツールです。

当社では、Lync導入の検討段階から運用開始後の保守のフェーズまでトータルでサポート致します。



新ソリューション

CC-FactRevo/AR

AR(拡張現実)技術を工場設備の保全業務に活用。正しいメンテナンス方法のガイド、メンテナンス実績の履歴管理、エラー操作ガイド等を備えたことで、適切なメンテナンスの実施をサポートするAR設備保全ソリューションとなります。



Standard Line-up

多様な勤怠管理を必要とする中堅企業で

CC-Biz Mate

労務管理・コスト管理の見える化を実現する、クラウド型勤怠管理システムです。携帯電話やスマートフォンから入力・申請・承認などを行うことができ、関連データをクラウド上で一括管理することにより、集計業務など時間と手間のかかる人事・総務担当者の勤怠管理業務を大幅に効率化します。

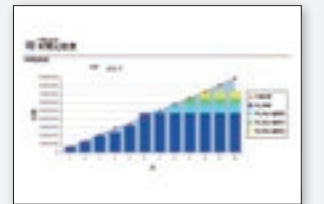


勤務予定、実績確認画面

高度な経営管理を必要とする中堅企業で

CC-BudgetRunner

企業の予算編成や管理業務に特化した、クラウドサービスです。用途を予算に特定することで機能に無駄がなく、使いやすく業務の大幅な効率化が可能です。クラウドサービスなので導入コストを抑えることができ、専用システムの導入が難しい中堅・中小企業でも気軽に利用できます。

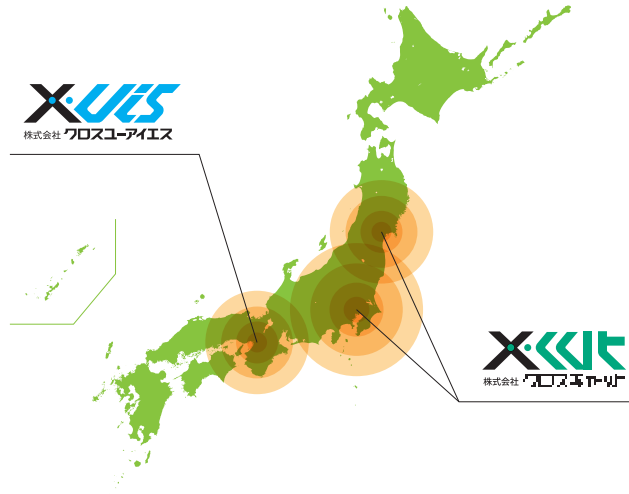


売上着地予想画面

▶ 子会社が加わり、さらなる成長を目指します。

ユニチカ株式会社の子会社、ユニチカ情報システム株式会社の全株式を譲り受け、当社の子会社として、2015年6月1日、株式会社クロスユーアイエスとしてスタートしました。

同社は、関西に強い営業基盤があり、BIビジネスやクレジットカードシステム等で当社と密接な連携が可能であり、商流拡大と商圏拡大に向けたシナジー創出に向けてグループで成長していきます。



▶ Microsoft Lyncと連携したアプリケーションを提供しました。

経済産業省向けにMicrosoft Lyncと連携した『職員名簿アプリケーション』を開発し、2015年4月に全国の端末約8,000台へ展開し、順調に稼働を開始しております。

『職員名簿アプリケーション』は、組織ごとに職員を一覧表示させ、在席情報確認が瞬時に可能で、インスタントメッセージ送信を行うことができます。また、フリーワードでの職員検索機能や、職員並べ替え機能を備えています。

今後、当社は、付加価値アプリケーション付きLyncシステムの導入を広く提案していきます。

会社概要

商号	株式会社クロスキャット (証券コード2307)
設立	1973年6月
資本金	4億59百万円
売上高	81億74百万円
事業内容	システムソリューション スタッフサービス
従業員数	531名
認証登録	ISO27001認証 ISO9001認証 プライバシーマーク認定 一般労働者派遣事業 有料職業紹介事業 電気通信事業

事業所

本社	〒140-0002 東京都品川区東品川一丁目2番5号 NOF品川港南ビル TEL:03-3474-5251 (代表) FAX:03-3474-5085
仙台支店	〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院二丁目 1番65号 花京院プラザ TEL:022-215-6661 (代表) FAX:022-215-6688

役員 (2015年6月26日現在)

代表取締役会長	牛島 豊	常勤監査役	田丸 俊次
代表取締役社長	井上 貴功	監査役	遠藤 正
取締役常務執行役員	前田 耕司	監査役	五味 洋行
取締役常務執行役員	佐藤 武次	執行役員	飯野 貴博
取締役常務執行役員	三嶋 峰雄	執行役員	伊藤 隆
取締役執行役員	増田 雅己	執行役員	江本 豊
社外取締役	天野 忠彦	執行役員	根本 博史
		執行役員	酒井 竜太郎

株式の状況

発行可能株式総数	35,800,000株
発行済株式の総数	9,210,960株
株主数	3,528名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
佐藤順子	950,000	10.31
クロスキャット社員持株会	883,900	9.59
尾野貴子	777,160	8.43
牛島豊	444,600	4.82
磯田晶子	400,000	4.34
小野田亜紀	362,000	3.93
大久保尚子	275,000	2.98
田崎冬子	270,000	2.93
並木豊	267,000	2.89
明治安田生命保険相互会社	240,000	2.60

所有者別分布

